

[2013-4]

NSG PLATS 通信

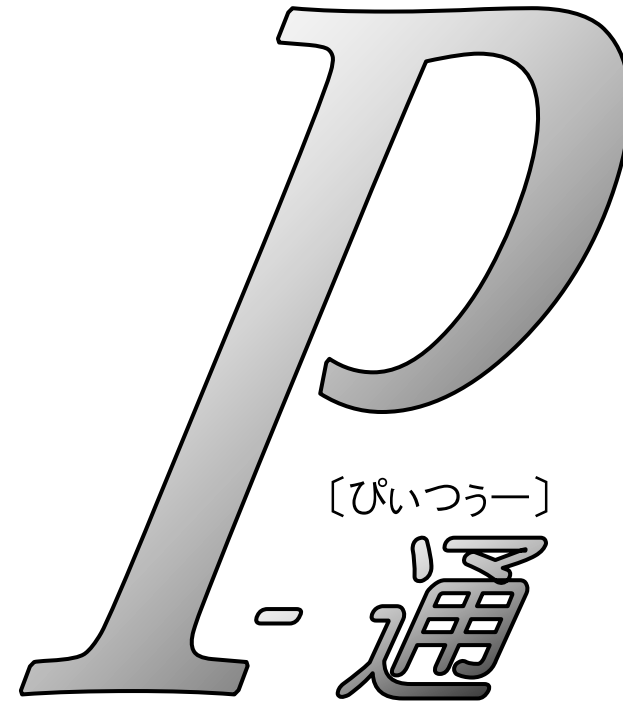
4月号

卯月
/April



CONTENTS

- ★ 今月の”心にひびく言葉“
- ★ 教育 TOPIC
「平成 25 年度
新潟県公立高校入試について」
- ★ NSG PLATS から
- ★ 4 月予定表



各教室の授業スケジュールは
教室紹介のページからご覧ください。

今月の
”心にひびく言葉“

最初の一步を踏み出さない。
階段全体を見る必要はない。
ただ、最初の一段を上りなさい。

マーティン・ルーサー・キング・ジュニア の言葉 (1929 年 1 月 15 日~1968 年 4 月 4 日)
キング牧師の名で知られ、アメリカにおける人種差別撤廃に大きく貢献し、1964 年のノーベル平和賞を受賞した。1963 年に”I Have a Dream”(私には夢がある)で始まる有名な演説を行い、これは日本の中学生の英語の教科書にも紹介されている。どんなに困難なことであってもその成功は一步を踏み出すことから始まります。とてつもなく大きな人種差別撤廃という階段もその一步から始まったのですね。



◇◇教育TOPIC◇◇ ~平成25年度 新潟県公立高校入試について~

平成25年度の新潟県公立高校一般入試が3/11(月)、全日制80校、定時制9校で行われました。**全日制、定時制を合わせた平均倍率は1.08倍**で、これは昨年度と同じ倍率でした。また、2日後の3/13(水)に各高校で合格発表が行われました。

今年は新学習指導要領が完全施行された初年度で、入試での出題内容も注目されましたが、**数学では“球の体積”“標本調査”“体積比”など新学習指導要領に沿って出題されるなど少なからず影響がありました。**また、**国語では漢字や文法が出題される大問一で読解力を問う問題が追加される**など、教科によっては出題傾向に変化が見られるものもありました。

下の表は新潟市内の主な高校の志願変更後の最終倍率状況です。

■平成25年度 公立高校一般入試最終倍率状況

高校名	学科	倍率	昨年倍率
新潟	普通	1.44	1.22
	理数	1.73	1.38
新潟南	普通	1.76	1.37
	理数	2.10	1.57
新潟中央	普通	1.01	0.97
	学究	1.00	1.50
	食物	1.40	1.92
	音楽	0.61	0.22
江南	普通	1.46	1.23
新潟西	普通	1.36	1.13
	学励	0.92	1.01
新潟東	普通	1.09	1.11
新潟北	普通	0.95	1.02
豊栄	普通	0.75	0.80

高校名	学科	倍率	昨年倍率
巻	普通	1.14	1.05
向陽	普通	1.53	1.57
市立万代	普通	1.61	1.67
	英語理数	1.50	1.20
新潟商業	ビジネス	1.51	1.28
	情報処理	1.33	1.35
	国際教養	0.98	1.28
新潟工業	機械	1.19	1.26
	電気	1.05	1.00
	建築	1.13	1.61
	建築設備	1.40	1.17
	土木	1.40	1.30
	工業化学	1.00	1.31

■大きかった定員削減の影響！

今年度は新潟南(普通)、江南(普通)、新潟商業(総合ビジネス)でそれぞれ1クラスずつ定員が削減されました。もともとこの3校は毎年高倍率の人気校で昨年もそれぞれ、1.37倍、1.23倍、1.28倍の高倍率で受験生は受験をためらう可能性も考えられましたが、実際にはいづれも昨年度の倍率を大きく上回り、特に新潟南(普通)では1.76倍と200名もの不合格が出てしまう大変厳しい入試でした。

これは近年、より一般化した私立高校の併願入試や一般入試ですでに合格を手に入れている受験生が、最後まで第一志望校をあきらめずにチャレンジしていることが影響していると考えられます。定められた合格枠を巡り、より多くの受験生が競い合うので、**これまで以上に内申点の1点、入試の1点が重みを増してきています。**今後も、新潟(普通・理数)、新潟南(普通・理数)、江南(普通)、新潟商業(総合ビジネス)、万代(普通・英語理数)などの人気校は高倍率が続くことが予想されますので、**多少の高倍率化にも動じないようしっかりと学力を身につけておくことが大切**ですね。

■今年度倍率が低い高校も油断できません！

新中3生、新中2生の皆さんは自分の志望校の倍率が気になるところかと思いますが、確かに数年間の倍率状況を見ることにより、ある程度の倍率は予想できます。しかし、**今年度のように募集定員の変更は志願倍率の状況に大きく影響を与えます。**

県教育委員会が公表している「新潟県高等学校等再編整備計画」では、**新中2生の皆さんが受験する平成27年度入試は新潟中央(普通)、新潟北(普通)の定員がそれぞれ1クラスずつ削減される**とされています。今年度入試では、新潟中央(普通)が1.01倍、新潟北(普通)が0.95倍と受験生にとっては比較的安心できる倍率でしたが、定員削減が実際に行われれば、1倍を大きく超えることは容易に想像できます。**入試に関する様々な変化も視野に入れて志望校への対策を考えることも大切**ですね。

■平成26年度 新潟県公立高校入試日程

学校名		出願	試験日	合格発表
推薦選抜	全て平成26年	1/28(火)~30(木)	2/12(水)	(内定通知)2/18(火)
一般選抜		2/21(金)~3/5(水)	3/11(火)	3/13(木)
2次募集		3/19(水)~20(木)	3/24(月)	3/25(火)

すでに、新中3生が受験する平成26年度新潟県公立入試日程が公表されております。平成25年度 高校入試に関する詳細は**4月20日(土)にPLATS各教室で実施される「春の教育情報セミナー」**で、中学入試状況、大学入試状況と合わせてご説明します。ぜひ、ご参加ください。

◇◇NSG PLATSから◇◇

◆【全学年】◆授業スケジュールにご注意ください！

授業回数の関係上、3月度第4週~4月度第1週まで、授業スケジュールが不規則になっております。裏面に記載されております各教室の授業スケジュールをご確認ください。

◆【新高1生】新高1生のための 大学進学説明会 を開催しました。

3/16(土)に新高1生を対象に大学進学説明会を開催しました。今年の新高1生は新学習指導要領が全面的に実施される初年度にあたります。今年の高校入試の出題でも新学習指導要領の影響が見られましたが、おそらく大学入試でも大きな影響があるでしょう。

その大学入試のしくみや、高校生活について、さらには高校生のPLATS活用法などをお話しさせていただきました。

そして、最後には進学記念品を進呈させていただきました。新高1生のこれから始まる高校生活、そして大学入試に向けた意気込みを感じました。

